

axio

Soliton OneGate

認証と認可の統合がもたらす安心感。
国産ベンダーの技術連携で実現する
次世代IDセキュリティ

目次

- 日本企業の組織風土に寄り添う ID ライフサイクル管理の技術的アプローチ
- 運用しやすさと拡張性を支えるアーキテクチャ
- 認証と認可の高度な統合を支える技術連携と検証の裏側
- 国産ベンダー連携だからこそ実現する迅速なサポートと高い費用対効果
- アカウント管理の負荷からの解放と次世代セキュリティへの展望

デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進やリモートワークの定着に伴い、多くの企業で利用されるクラウドサービス（SaaS）や業務システムの数は飛躍的に増加しています。これに伴い、企業のITインフラを支える情報システム部門では、各システムにおけるアカウントの発行・変更・削除作業や、複雑化するアクセス権限の管理負担がかつてないほどに増大しています。また、管理の行き届かない休眠アカウントの放置や不適切なアクセス権限の付与は、外部からの不正アクセスや退職者による内部情報漏えいといった重大なセキュリティリスクに直結します。

前回の記事では、こうした課題を解決するために株式会社アクシオの提供するID管理システム「Keyspider」と、株式会社ソリトンシステムズの多要素認証サービス「Soliton OneGate」が連携した全体像や、アライアンスがもたらすビジネス上の価値について紹介しました。連載の後半となる本記事では、この取り組みを支える技術的な仕組みや、両社のエンジニアが連携して進める開発・検証の舞台裏、そして読者が安心して導入を検討するための信頼性の根拠について深く掘り下げていきます。



株式会社アクシオ
技術本部 認証基盤技術部
サポートG

志村 大地氏

株式会社アクシオの認証基盤技術部にて、数多くのID管理システムの導入・保守および提案活動を担ってきた志村大地氏に、現場の課題を解決する具体的な技術アプローチと、本アライアンスが提供する将来像について話を聞きました。

日本企業の組織風土に寄り添うIDライフサイクル管理の技術的アプローチ

株式会社アクシオは、ネットワークやセキュリティをはじめとする情報インフラの構築を長年にわたって手がけてきたシステムインテグレーターです。元々は大手ケーブル・光ファイバー製造メーカーの施工・配線管理部門および情報システム部門を起源としており、30年以上にわたって企業のIT基盤を物理層からアプリケーション層まで総合的に支えてきた歴史を持ちます。中でもID管理の分野においては20年以上の豊富な構築・運用実績を有しており、時代の変化に応じた最適なID基盤の提供を続けてきました。

アクシオは2021年4月にKeyspider株式会社と資本・業務提携し、同社が開発するクラウドID管理サービス「Keyspider」の販売総代理店として事業を展開してきました。2026年5月にはKeyspider株式会社を完全子会社化しています。

Keyspiderが重視しているのが、日本企業で見られる「組織風土」や「複雑な人事イベント」への対応です。例えば、1人の社員が複数の部署の業務を兼ねる「兼務」、人事異動に伴う「発令日予約（未来日での権限設定）」、さらには新旧担当者が並行して作業を行う「引き継ぎ期間中の権限保持」など、複雑なIDライフサイクル管理が求められるケースがあります。

他製品では要件によって追加設定やシステムインテグレーションが必要になる場合があるのに対し、Keyspiderは長年の構築業務の中で現場から寄せられた要望を基に、兼務、引き継ぎ期間、未来日発令など、日本企業の組織運用を想定した機能を標準で備えています。

志村氏：長きにわたりID管理の構築に携わってきた中で、お客様からいただいた現場のリアルな要望を標準機能として実装しています。引き継ぎ期間の設定や兼務への対応、将来の人事発令日に合わせたデータ反映など、外資系製品ではカスタマイズが必要になる部分に対しても、標準機能のまま柔軟に対応できる点がKeyspiderの最大の強みです。

このような日本企業の実際の運用に寄り添った設計思想があるからこそ、企業は過度なシステム構築費用を投じることなく、自社の組織実態に合致した厳格なID管理環境を迅速に整えることができます。

運用しやすさと拡張性を支えるアーキテクチャ

従来のオンプレミス型ID管理パッケージでは、製品や構成によってサーバーの準備・保守やSQL、プログラミングの知識が必要となり、連携先の追加に外部ベンダーへの依頼が必要になる場合があります。こうした要件は、運用コストや属人化の要因になり得ます。

本製品はクラウドサービスとして提供されるため、物理的なサーバー管理やインフラのメンテナンス作業を軽減できます。さらに、標準機能では専門的なプログラミング知識を必要とせず、Webブラウザ上のGUIから設定できます。なお、連携方式によってはAPI、SQL、LDAP、CSVなどを利用します。

この扱いやすい画面設計と柔軟なアーキテクチャは、運用の内製化とスモールスタートを後押しします。導入の初期段階では、対象を一部の主要システムに絞り、アクシオのエンジニアが構築を支援し、稼働後はシステム管理者自身が新しい業務アプリやSaaSを追加・拡張していくことが可能です。

志村氏：システム管理者様ご自身で、設計から将来的な運用の拡張までを進めていただくことを想定して製品を設計しています。SQLやプログラミングの専門知識がなくても、Webブラウザからの選択操作だけで設定を

Copyright(C) Soliton Systems K.K. All rights reserved.

完結できます。他社製品と比較しても費用を抑えて導入できるため、まずは小さな範囲から連携を開始し、段階的に適用範囲を広げていくスモールスタートに最適です。

システム管理者が自律的に設定変更を行えるメンテナンス性の高さは、変化の激しい現代のビジネス環境において、IT環境を迅速かつセキュアにアップデートし続けるための不可欠な要素となります。

認証と認可の高度な統合を支える技術連携と検証の裏側

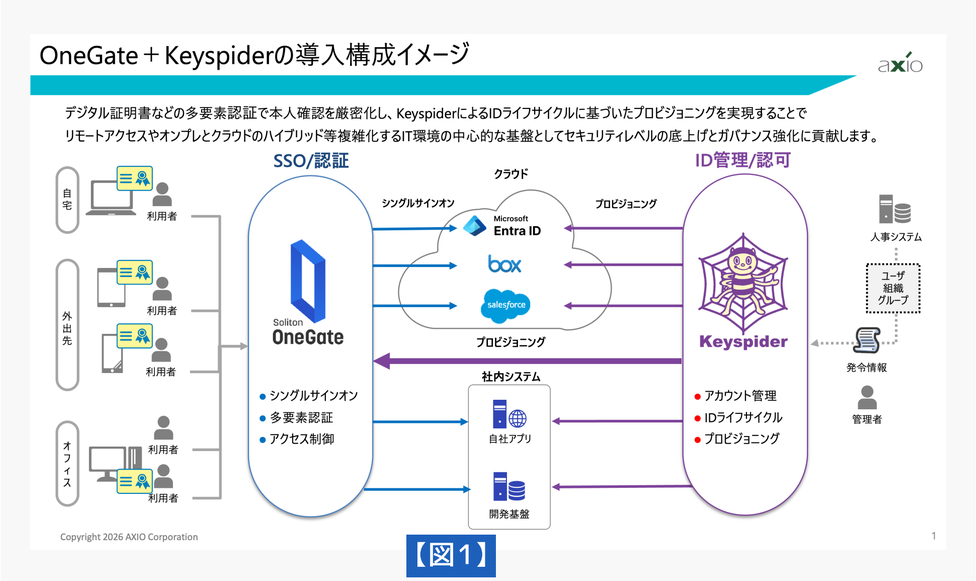
企業セキュリティを維持する上で、「認証」と「認可」は異なる役割を持ち、両方を適切に設計・運用することが重要です。不正アクセスでは、他人の識別符号の悪用や、パスワードの設定・管理上の不備が原因となるケースがあります。こうしたリスクに対し、認証強化と適切な権限管理を組み合わせることが重要です。

株式会社アクシオの「Keyspider」によるID・権限管理と、株式会社ソリトンシステムズの「Soliton OneGate」による多要素認証（MFA）やシングルサインオンを組み合わせることで、認証とID管理を連携したセキュリティ基盤を構成できます。

この両製品の連携を実現するため、両社のエンジニアが緊密に技術検証と継続的な開発を進めています。人事システムやActive Directoryなどから取り込まれた情報は、Keyspiderで処理された後、Soliton OneGateへユーザー情報として連携されます。

人事システムを源泉とした自動連携により、組織改編や異動に伴うアカウント更新の手作業を減らし、付与漏れや削除漏れの抑制につなげられます。Soliton OneGate側でも、連携されたユーザー情報を用いてSSOや多要素認証を行えます。検証の過程においては、データの受け渡しやAPIの動作仕様について両社のエンジニア間で定期的な打ち合わせが重ねられ、最新のAPIを開発ロードマップに組み込みながら、より安定した連携動作とセットアップの簡易化（プリセット機能や専用Webマニュアルの整備）が推進されています。

志村氏：単にシステム同士がつながるというだけでなく、シームレスで安定した自動連携を目指して、両社のエンジニアで密に課題を共有しながら検証を行っています。人事システムを源泉として整合性の取れたユーザー情報をSoliton OneGateに自動供給することで、常に正しいアカウント状態での認証・認可が実現します。お客様が迷うことなく簡単にセットアップを行えるよう、Webマニュアルの整備も完了しています。



【図1】

両社の技術陣は、表面的な接続確認にとどまらず、実際の運用で想定される様々なデータパターンを踏まえた検証を重ね、安定した連携動作を目指しています。

国産ベンダー連携だからこそ実現する迅速なサポートと高い費用対効果

複数のベンダーが提供するソフトウェアやクラウドサービスを組み合わせてシステムを構築する際、導入企業が懸念しやすい点の一つが「トラブル発生時の原因特定とサポート対応」です。複数ベンダーの製品を組み合わせる場合、問題発生時の切り分けや問い合わせ先の整理が課題になることがあります。

両社はともに日本国内に開発拠点を持ち、自社内で製品の開発と技術サポートを行っています。費用面についても、アクシオは海外製品を組み合わせた構成と比較して高いコストパフォーマンスを提供できる点をメリットとして挙げています。取材では、構成や要件によっては初期導入費用や年間ライセンス費用を3分の1から4分の1程度に抑えられるケースもあるとの説明がありました。

志村氏：国産メーカーとして自社で製品開発を行っているからこそ、万が一の不具合や仕様上の課題が発生した際にも、原因特定や改修を迅速かつ親身に行うことができます。窓口の一本化によるサポートの安心感はもちろんのこと、外資系製品の組み合わせと比較して圧倒的なコストパフォーマンスを提供できる点は、お客様にとって非常に大きな導入メリットとなります。

手厚いサポートとコストの両立を重視する企業にとって、両製品の組み合わせは導入を検討する際の選択肢の一つとなります。

Copyright(C) Soliton Systems K.K. All rights reserved.

アカウント管理の負荷からの解放と次世代セキュリティへの展望

両製品の連携は、現在のユーザーアカウント情報の自動同期だけにとどまりません。今後はユーザーデータ以外のマスター情報にも連携範囲を広げ、OneGateへのデータ連携のさらなる自動化を目指しています。

また、「IDガバナンス（IGA）」機能の強化や、AIエージェントへの対応、ヘルプデスク対応や設定問い合わせへのAI活用なども、今後の検討・機能拡張テーマとして挙げられています。

企業の情報システム部門における日常業務では、社員の入退社や異動に伴う手動のアカウント登録、パスワードリセットの問い合わせ対応、権限削除の確認といった定型作業が大きな負荷になることがあります。これらは企業運営を支える重要な基盤業務である一方、情報システム部門の負荷軽減が課題となりやすい領域です。

Soliton OneGateの多要素認証やパスワードレス機能と、Keyspiderの人事情報に連動したアカウント管理を組み合わせることで、認証や権限管理に伴う手作業の削減が期待できます。この二つのソリューションを連携させることで、情報システム部門のアカウント管理に関わる運用負荷の軽減を支援します。

現場の悩みに真摯に向き合い、長年の実績と高度な技術力を磨き続けてきたアクシオとソリトンシステムズ。両社の確かな技術的裏付けに支えられたアライアンスは、これからも企業の安全なデジタル活用と、情報システム部門の持続可能な運用をサポートします。

株式会社アクシオ

本社
〒141-0031　東京都品川区西五反田 2-12-19　五反田 NN ビル 5F
https://www.axio.co.jp/

ネットアテスト

「ネットアテスト」は、企業ネットワークに関わる全ての方のためのサイトです。安心・安全な環境を実現したい情報システム担当者様、確かなシステムを提案されたいインテグレータ様に向けて、運用の効率化やセキュリティ強化の方法などをお届けしていきます。

サイトはこちら

Copyright(C) Soliton Systems K.K. All rights reserved.